



Rotary 寒川ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

子どもたちと寒川の未来をつなごう ~さらに先の50年へ~

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 村松 一 幹事 山本和好

会報委員(クラブ管理運営委員会)

若菜勝美 鈴木正秋 石丸博久 大澤剛 茂内勝 中村靖 二見茂 真原浩 森嶋洋子 山本和好

第2281回例会**2024年4月15日(月) 晴れ**

司会 中野副幹事

斎唱 我らの生業

ソングリーダー 真原クラブ管理運営委員

マークアップ 【本日分】 茂内会員(平塚湘南RC)、山本和好会員(理事会)

【3週間前分】 三澤会員(地区研修委員会)

会長の時間 村松会長

皆さんこんばんは。明後日から台北へ行く予定となっております。まずは、前回の例会より義援金を募りましたところ、大変多くの皆様にご協力をいただきました。会の災害義援金と合わせて30万円を台北士林RCにお届けすることをご報告申し上げます。お見舞いと一日も早い復興を祈念しお渡してくるつもりです。改めましてご協力ありがとうございました。さて、台湾の災害に対する対応が敏速に行われていることが国際社会でも大変評価を得ているということです。地震から3時間後には避難所が設置され、その後テント、ベッド、Wi-Fiや緊急医療機関の設置なども早急に行われたそうです。山間部での孤立状態解消については、トルコの救護チームが駆け付けドローン等を使い救援活動を行ったそうです。トルコチームの一員は「去年のトルコ地震で台湾から支援を受けたお礼」と語っていたそうです。また傾斜したビルの撤去は、余震で完全に倒壊し新たな犠牲者が出る二次災害を防ぐために早々と解体作業を行ったそうです。慈善団体や住民の協力によって各避難所の運営も順調で、寄付された食料や生活必需品も素早く届いたそうです。「防災LINEグループ」などを使い官と民が一致団結して対応できるシステムが確立していることが大きな要因であるとのことです。1999年に2400人の死者を出した大地震後に政府を挙げて対策をしてきたことが功を奏したとのことです。翻って、日本がもしそのような状況に陥った時には2011年に起った東日本大震災の教訓が活かされるのかが甚だ疑問です。

我々寒川RCも有事の際にすぐに動ける体制を整える必要があるのではないかと思っております。会員としてどのような行動をとるかをマニュアル化し、災害があった時のために食料や生活必需品を独自に備蓄しておく、炊き出し等の活動がすぐにできるようにしておく。地区などの指示に頼る前に行動ができる土壤を作つておくことも奉仕に値するのではないでしょうか。今すぐにはその体制は整えることができませんが、全会員で議論し緊急時の活動計画なども今後考えていくべきなのではないでしょうか。さて、本日は加藤会員と吉田会員にスピーチをお願いしております。経験豊富なお二人のお話を楽しみにしております。何卒よろしくお願い申し上げまして会長の時間とさせていただきます。

台北士林RC訪問団結式

出席者10名: 村松会長、山本幹事、小澤会長エレクト、金子副会長、島村国際奉仕委員長・中村副委員長・椎谷委員、下里親睦活動委員長・藤委員、高波奉仕プロジェクト委員

**出席報告**

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
38名	36名	31名	86.11%	第2278回 63.89%
本日欠席者	青木会員、石井会員、椎野会員、山本哲会員、若菜会員			

幹事報告 中野副幹事

例会変更

茅ヶ崎湘南RC

週報受理

なし

その他受理

●ガバナー事務所

～台湾東部地震災害支援金協力依頼

→当クラブは会員の皆さまからの義援金と奉仕会計予備費からの拠出金とを合わせた30万円を台北士林RC創立記念式典訪問の際に直接お渡しし、被害の大きかった花蓮県の復興支援に役立てていただく予定のため、地区取りまとめの支援金には参加いたしません

～次年度向け会員増強セミナー開催案内(5/19(日)13:30

～於:第一相澤ビル 対象者:会長エレクト・次年度会員増強委員会(小澤会長エレクト・山本次年度会員増強委員長出席予定)

回覧

○ハイライトよねやまvol.289

委員会報告・地区および地域出向者報告

親睦活動委員会 下里委員長

5/26-27創立家族移動例会の案内をお送りしました。先日の回覧で既に回答済みの方も、念のため事務局あて出欠をお知らせください。どうぞよろしくお願ひいたします。

国際奉仕委員会 島村委員長

いよいよ2日後に迫りました台北士林RC訪問について、行きの乗り合わせを確認方々ご連絡いたします。今回は小澤さんと高波さんに車を出していただくことになりました。各車で時間を確認していただき、空港に向かってください。また、今日2回目となる出し物の練習会を行います。ご無理のないところでご出席ください。

中野副幹事

来週の日曜日21日、地区研修協議会に登録されている方は寒川駅北口の交番の後ろあたりにバスが止まります。場所柄長い時間の駐停車ができませんので、8:30集合・出発でお願いいたします。

同好会報告

なし

第2281回スマイルボックス

中村靖クラブ管理運営委員

合計44,000円

◎村松会長・山本幹事

加藤会員、吉田会員、本日のスピーチ、よろしくお願ひいたします

◎菊地会員

入院中ありがとうございました。おかげさまで元気になりました。今後ともよろしくお願ひします。

◎島村会員

いよいよ17日から台北士林ですね。ご参加の皆さん、楽しみですね!! 元気よく行ってまいります!!

◎椎谷会員

4月17日からの台北士林RC訪問の際に、元士林RCメンバーでした「ドラゴンさん」にお会いしてきます。

◎吉田会員

本日はスピーチのお時間をいただき、ありがとうございます。つたない話ですが最後まで聞いてください。

◎眞原会員

菊地さんお帰りなさい

◎秋本、石腰、石塚、石丸、磯川、井上(晋)、井上(稔)、内野、小澤、金子、加藤、清水、下里、鈴木(郁)、高波、中野、中村(光)、中村(靖)、二見、三澤、三留、森嶋、各会員

新会員スピーチ

加藤幹広会員

本日は新会員スピーチということで、このような場をいただきましたので自己紹介も兼ねて主に仕事のお話をさせていただければと思います。私は横浜生まれ、横浜育ち、今も横浜に住んでいる生粋の浜っ子になります。といっても今住んでいる場所は町田まで車で3分程度の横浜の端っこにはなりますので、相模原出身の妻には「横浜って言ってもねえ」と苦笑いされております。現在、妻一人、長男・次男の4人家族の43歳。横浜銀行に入行し、今年で20年目となります。もともとは弁護士を目指し大学は法学部に入学しましたが、定期試験ですらヒヒヒ言う始末であったこともあり、早々に挫折することとなりました。会社に入った2004年は所謂就職氷河期真っ只中であったため、ちゃんと就職ができるかとても心配しておりましたが、何とか会社に入ることができました。就職活動を行う以前は金融機関・銀行に就職するなど全く頭の中にはありませんでしたが、各業界の方々のお話を伺っているうちに、形のない商品を取り扱う金融機関に関心をもち、銀行へ就職を決めることとなりました。初任店は相模原市の橋本支店。私の同期は一般職の女性が1名の2名のみでした。同期の女性は2年ほど勤めたのち全く違う業界に転職してしまいましたが、現在は二児の母として私の妻となっております。入行後3か月の研修期間は毎日定時出勤・定時退行でしたが、晴れて正社員となるや状況が一変しました。当時は当行も人員をピーク時より半分にリストラを完了させた直後であり、どの支店も人が全然いない状況でした。詳細は割愛させていただきますが、労働時間的にも精神的にもハードな日々を送る形となりました。後々になって何故大学の成績があそこまで悪かった私が就職できたのか考えてみると、そのような状況下でしたので、求められていたのは「知力」ではなく「体力・忍耐力」だったのかなと思っております。話は前後しますが、私

は中学・高校とマーチングバンド部という部活に所属し、サックスを6年間やっておりました。マイナー競技ですのでご存じない方が多いと思いますが、楽器を演奏しつつ移動しながらフォーメーションを組んでいくものです。もともとの発祥が軍隊ということもあり、一応文化部に所属するものの運動部に匹敵するトレーニングと厳しい理不尽な上下関係のある環境でした。そこで6年間もまれた結果、体力・忍耐力が培われたのではないかと思っております。またその6年間の最後の高校3年生の時には、入部当初より目標としていた日本武道館で開催される全国大会でのソリストとしての演奏を行うことができました。これは私の今までの人生で唯一自慢できることかもしれないですが、高校卒業後25年程度が経過し、今は音が出るかどうかわからないレベルとなってしまいました。話を仕事にもどさせていただきますと、初任店の橋本支店では主に個人のお客様向けの融資や運用商品提案などを行っておりました。業務自体は面白みもあり充実していましたが社会人4年目頃になり、そろそろ新しいことをやってみたいという気持ちがふつふつと沸いてきました。ちょうどそのタイミングで、社内で中国の大学への中国語語学トレーニーの募集があり、ダメもとで応募をしてみると数か月後まさかの選考通過の連絡を受け、初めての転勤で上海の復旦大学という大学に留学することとなりました。勢いとノリで応募したものの、大学でも第2外国語はドイツ語であったため中国語は全く触れたことがありませんでした。そのため赴任当初は生活するのも授業を理解するのもとても苦労した記憶があります。それでも他金融機関の方、他業種の方、中国人はもちろん欧米・アジア各国の学生たちと交流を持てたことはとても楽しく勉強になった有意義な経験となりました。1年間の語学留学の後、帰国し国際業務部に配属され海外融資支援業務を行うこととなりました。なぜか中国ではなくインド、ベトナムをメインに担当することになりましたが。国際業務部で3年ほど勤務をした後、今度は当行の上海支店へ赴任することになりました。当時妻のお腹には長男があり、出産予定は5月であったこともあります、さすがに4月の人事異動で海外勤務はないだろうとタ力をくくっていたところ、突然の辞令を受け取り6月の赴任という運びになりました。上海支店では当時まだ人民元の取り扱いライセンスがなかったため、1,2年後にライセンスが取得できた後のニーズがないかを調査することがメインミッションでした。まずは上海近郊の取引先を回り、その後は北京・天津・大連をメインに月の半分は出張という生活を行っていました。出張というついでに観光とかにも行ったのかと思われがちですが、夕食に何かおいしいものを食べる以外は特別にどこに行くこともなく、唯一行ったのが天安門広場くらいかと記憶しております。中国語留学までさせてもらい、国際業務部、上海支店の勤務までくると、もう国内営業店で業務を行うことはないだろうなと思っていましたが、上海支店での勤務後はまさかの国内営業店、茅ヶ崎支店配属となり、のちに営業体制の変更から寒川支店の所属として1回目の勤務を開始します。茅ヶ崎・寒川支店で4年間勤務し、その後岡島支店へ転勤、7年半の勤務後、半年前に2度目の寒川

支店の辞令をいただき現在にいたっております。帰国後10年超経過し、せっかく覚えた中国語については全く使う機会がなく、すっかりと忘れてしまった次第です。

横浜銀行の職員は4000人ほどおりますが、私のような経歴はかなり稀なケースかと思います。銀行での業務は私が入行した20年前と比べると環境の変化や税制の変化の影響もあり、大きく変わってきています。今は単純に融資をする、預金を集め、運用商品の提案をするといったことだけではなく、個人個人、各社各社ごとの状況を細かく確認、把握を行っていくことで、顕在化しているニーズ、気づかれていない潜在的なニーズに対する最適なソリューションを提供していくことを目指し、銀行だけではなく、様々な提携先と連携をとりながら活動をしております。金融業界へ就職を希望した理由であった「形のない商品」を扱うということ、商品の良し悪しは提案内容で決まっていくということを今も身をもって体感し、やりがいを感じると共に難しさを日々感じております。今後もお客様に満足していただける提案ができるように自己研鑽に励んでいきたいと思っております。現在は横浜銀行寒川支店の支店長として初めての支店長業務で右往左往している状況であり、特に事務部門などは経験したことがないため、若手担当者に教えてもらひながら日々精進中です。業務でも覚えなくてはいけないことがあります、支店長として着任し最も苦労しているのがゴルフです。以前からその時々の上司よりゴルフを始めるように勧められていましたが、なかなか重い腰を上げることができず始めませんでした。しかし必要に迫られ昨年10月よりゴルフを始めました。初めてのラウンドは昨年11月。こちらにいらっしゃる方々多くいらっしゃった中でのコンペでしたが、結果は当然圧倒的なビリ。次こそは足を引っ張らない位にはなりたいと思い、週一のスクールは継続しております。先月3月に過去の上司にお誘いを受けコースに行ってきました。半年間練習してきた成果を発揮すべく意気揚々とのぞみました。スクールが行われている打ちっぱなしでは、まずまずまっすぐ飛ぶようになってきたので、多少はうまくなっているだろうと思っていましたが、練習場では当たる球がゴルフ場では全然当たらない。当たらないから焦って振るとまた当たらないの悪循環をくりかえし、結局結果は惨憺たるものとなり、意気消沈して帰ってきた次第です。後日スクールの先生に結果を伝えたところ、「そんなもんだよ、数をこなして場慣れしないと」と言われ、釈然としないながらも、そんなもんかと前向きにとらえ継続して精進に励んでおります。何か良い対策があればぜひ教示いただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。ロータリークラブに入会し半年経過しましたが、まだまだ分からないことも多く色々とご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

吉田武史会員

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。私は加藤会員ほど話術が達者ではないので、目で見ていただきながらお話を進めようと思います。私は現在51歳。妻と結婚して18年目になります。中2の娘と小6

の息子と仲良く暮らしております。私の出身は福岡・博多、妻は埼玉出身の寒川育ち、娘と息子は東京出身寒川育ちと、幅広い家族構成となっています。私は歯医者になって24年、九州福岡から御茶ノ水の日本大学へ進学しました。歯科界は医科界と違って離島診療がありませんが、私が入局した保存修復課で偶然離島4島：利島・式根島・新島・神津島を担当することになり、人口2500人の新島に1年間行くことになりました。利島は200人、式根島は400人、青ヶ島120人というところで診療所のお医者さんも常駐していない、歯科については年に1回ほどしか診てもらえないということもあったようです。今現在は、大きな島には一人常駐、小さな島には月に1週行くようになっています。島でのすごいい経験をしたのは、卒業して7年目の何もできない私でしたが、一緒に赴任したお医者さんも卒業して5-6年目でしたので仲良くさせていただきながら診療できることです。せっかく島に行くなら365日診療しようと思い、(月)～(金)は9時から4時、(土)と(日)は休診で、島の皆さんとの交流(ボクシングやバーレーボール、バトミントン、草野球)をし、一方でたくさんオペをしました。最初は島の人も「なんだ、コイツ」と思っていたと思いますが、1年経つとさすがに皆さん喜んでくれて村長賞をいただきたりしました。ちょっと自慢です。新島では一日40人くらい診察しました。本当に充実した1年間でした。結婚したのが新島に行く前の年の11月で、「4月から新島に行く」と言った瞬間、妻は「ふざけるな」となりまして、今度は新島での12月に上司から「吉田だったら小笠原が向いているから行かないか」と言われ、年明け妻が遊びに来た時に小笠原の話をしたら真剣に「離婚する」と言われたので止めました。島もとても楽しかったのですが、大学病院には11年いて分岐点がありました。大学病院でどんどん上に向かっていくのか。自分では研究は向いていないと思っていたところ、偶然、後藤歯科医院で歯科医師が2人辞めるという話を妻から聞き、ここがいい転機だと思いこの寒川の地にやってきたわけです。もう13年になります。後藤歯科医院は1978年、後藤先生が始めた歯科医院です。皆さん、虫歯と歯周病さえ直せばあとは何とかなると思っているかもしれません、そんなわけはありません。歯は老化します。虫歯がなくても歯が揺れている人は要注意です。皆さんがかかっている歯医者さんとよく話してみてください。まずは自分の口の中のことによく知ることです。後藤歯科医院は先代がすごく頑張られて「この地区で負けない歯医者にしよう」とされてきました。地域の歯医者さん、皆さん優秀な方ばかりですが、それぞれ得意不得意があるわけで、入れ歯が得意な先生、インプラントが得意な先生…。全部できるのが一番ですが、そうはいかない。後藤歯科の理事長になって4年目になりますが自分のやりたい病院は、当然自分も鍛錬して努力はしますが、できることを自分で中途半端にするよりは、チームワークを組んで得意な歯医者さんに頼んでもいいんじゃないかな。そういう関係で寒川・茅ヶ崎でいい歯科のチームを作りたいと思っています。その方が患者さんにとってもプラスになります。というわけで後藤歯科医院もニューパワーを取り入れているところです。歯科界にもダ・ヴィンチという手術

支援ロボットで外から機械を操作して歯科治療を行うものや、スキャナーで歯型を取る機械など、最先端の技術がたくさん取り入れられており、後藤歯科でも導入し始めています。次に災害と歯科についてお話しします。歯科の神奈川県代表として災害現場に行くようになつたきっかけは東日本大震災でした。大学病院にいらした私の大変お世話になった先生が、東京電力本社の診療室に課長として移動しました。3.11の当日、私は東京電力本社にてあの地震を体験しました。本社自体も大きく揺れ壁にひびが入り、診療中だった東電の社員の方は突然いなくなり、ベストを着て階段を走り回っていました。今でも鮮明に覚えています。また、後藤歯科に来たことにより歯科医師会の下っ端から勉強させていただこうと検死体(焼死体とか水死体とか)の歯の照合をお手伝いしました。そこから災害地域へのお手伝いをすることになりました。去年が関東大震災から100年目でした。大きい地震は100年に1回程度と言われていたにもかかわらず、1995年に阪神淡路大震災が起きます。そして2011年東日本大震災、2024年に今回の能登半島地震となると、今言われているように南海トラフ巨大地震はいつ起こるかわからない。災害時、まず医療チームは救急医療が派遣されますが、48～72時間が経過すると今度は避難所にいる被災者の方々の体とお口の健康を守る必要が出てきます。ただ、被災地の避難所では「ハミガキなんかよりもっと他にやることがあるよね」という声を聞きます。その通りなんですが、口腔ケアを怠ると誤嚥性肺炎の発症を招くことになります。今回私は2年前にできたばかりの災害歯科支援チームでお手伝いすることになりました。災害にあった時大切なのは「水の蓄えはありますか?」「避難所の場所は知っていますか?」「携帯電話に災害アプリを入れていますか?」皆さん、確認しておいてください。今回の能登半島地震では神奈川県が最初に現地入りしました。1月中旬に「あなたが派遣されるかもしれない」と言われ、そのあとは音沙汰ナシで行かないのかなと思っていたら2/1に「あなた行って来てください」と突然決まりました。場所は朝市で有名な輪島市門前町。火災で大きな被害がありました。で、前日「救急のお医者さんたちがまだ門前町にいるからあなたたちはどこかホテルを探して泊ってください」。急きょ金沢でホテルを探しました。最初は電車で行こうと思っていましたが、レンタカーが壊れた時の保証まで手が回らないので自家用車で来てください、と。金沢まで7時間かけて行き金沢のホテルに泊まって、そこから毎日門前町まで2時間半かけて通いました。途中警察官が検問していました。被災地に泥棒が入らないようにするためです。被災地ですごいなと思ったのは、薬剤師会が4台のトラックに薬を載せてやってきていたことでした。地元の歯科医師会の方々はほとんど寝ないでやられていて、自分もここで何かをして帰らなければ!と強く思いました。歯科支援に4泊5日で行って感じたことは、災害があった時昔はお金を送ってもどう使われるかわからないので物資を送る方がいいのかなと思っていました。ところが、この状況を見てください。段ボールが山ほど届いているのにそれを分別して中身を確認して避難所で活用する人手がない。下の方にはいろ

いろいろ救援物資が届いているのに上に積んであるカップラーメンとお菓子しか食べていない避難所もありました。まずはお金を送るのが重要なのかなと感じました。ただ、神奈川県でもお金を送られたときにそれをどのように使うのか考えていない状況です。災害が起きる前にお金の使い道を考えておかなければならぬと思います。また、ある避難所では「メディアの取材はお断り」という張り紙がしてありました。こういった場所の状況を伝えるという使命があるにしても、被災者支援だけで手いっぱいの避難所に取材をする意味はあるのか。避難所によっては「歯科医師会から来ました。お手伝いしていいですか」と伝えても「何しに来たんだ!」と怒鳴られるところもありました。どういう立場で被災地に行くのか。自分たちは支援する立場だからとおごっていないか。逆の立場だったらどう感じるのか。いろいろ考えさせられました。帰る直前になって車のタイヤがパンクしました。毎日2時間半100キロ以上を往復して5日間、よく頑張ってくれたと車に感謝しました。12月から寒川ロータリークラブに入らせていただき、何かお手伝いしたいと思ってはいるのですがまだ右も左もわかりません。寒川にもまだ日が浅くできることも限られていると思いますが、皆さんとこれから一緒に活動していきたいと思っています。今日はありがとうございました。



新島村国民保険本村診療所



過去の災害より

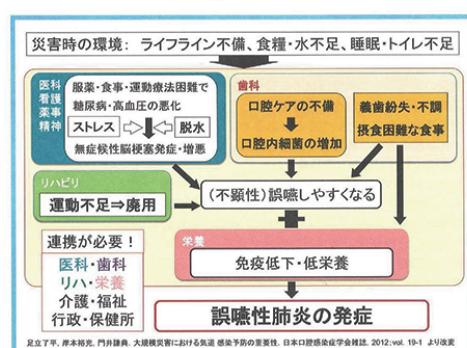
発生年月日	災害名	死者・不明者	歯科の活動
平成5（1993）年7月12日	北海道南西沖地震	死者 230, 不明29	応急診療
平成7（1995）年1月17日	兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	死者 6,434, 不明3	応急診療
平成16（2004）年10月23日	新潟県中越地震	死者68, 不明0	応急診療、歯科保健活動
平成17（2005）年3月20日	福岡県西方沖地震	死者1,不明0	応急診療、歯科保健活動
平成19（2007）年3月25日	平成19年（2007年） 能登島地震	死者1, 不明0	応急診療、歯科保健活動
平成19（2007）年7月16日	新潟県中越沖地震	死者15, 不明0	応急診療、歯科保健活動
平成20（2008）年6月14日	岩手・宮城内陸地震	死者17, 不明6	応急診療、歯科保健活動
平成21（2009）年8月9日 ～8月13日	平成21年台風第9号 (兵庫県佐用町)	死者25, 不明2	応急診療、歯科保健活動
平成23（2011）年3月11日	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	死者不明者2万人以上	個人識別・応急診療 歯科保健活動
平成28（2016）年4月14日	熊本地震	死者267, 不明0 (平成30年4月13日現在)	個人識別・応急診療 歯科保健活動
平成30（2018）年6月28日 ～7月8日	西日本豪雨災害	死者220, 不明10 (平成30年7月31日現在)	個人識別・応急診療 歯科保健活動

Japan Dental Alliance Team (JDAT、日本災害歯科支援チーム)

【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

JDAT (Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム) 活動基盤(第1回) (令和3年10月)



令和6年登半島地震 災害歯科支援チーム(JDAT)派遣状況(予定) ※派遣期間:1/29(月)~2/4(日)

都道府県	派遣期間※	チーム数	人数	職種の内訳				派遣予定期
				歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	
愛知県1	1/28~1/31	1	4	1	2		1	
愛知県2	1/31~2/3	1	4	1	2		1	
愛知県3	2/3~2/6	1	4	1	2		1	
石川県1	2/4	1	4	4				
石川県2	2/4	1	4	4				
神奈川県	2/1~2/5	1	4	4				
広島県	2/2~2/7	1	3	3				
滋賀県	2/1~2/4	1	4	3		1		
長野県1	1/29	1	3	3				
長野県2	1/31	1	3	3				
長野県3	2/1	1	3	3				
長野県4	2/2	1	3	3				
長野県5	2/3	1	3	3				
長野県6	2/4	1	4	4				
富山県	2/3~2/4	1	4	1	2		1	
東京都	2/1~2/5	1	5	1	2		2	
京都府	2/1~2/3	1	3	2		1		

